

修了評価の方法

評価基準作成者： 齋藤 英宣

評価方法及び合格基準

《筆記試験》

1、出題範囲

指定テキスト(株)日本医療企画発行「介護職員初任者研修課程テキスト1巻～3巻」の全範囲

2、出題形式

五肢択一形式及び穴埋め形式とする。

3、出題数

択一式問題33問(配点99点)、穴埋め式問題1問(配点1点)
全問正解:100点

- ・テキスト1巻「介護・福祉サービスの理解」から
択一式問題10問(配点30点)、穴埋め式問題1問(配点1点)
- ・テキスト2巻「コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解」から
択一式問題11問(配点33点)
- ・テキスト3巻「こころとからだのしくみと生活支援技術」から
択一式問題12問(配点36点)

4、合格判定基準

60点以上にて合格とする。

《演習》

各介護技術について、担当講師が演習の中で習得度合のチェックをする。以下の「技術演習評価基準」によりのA～Dの4区分で評価し、A及びBの受講者について、筆記試験による修了評価テストの結果と合わせて修了認定を決定する。

	技術演習評価基準	認定可否
A	基本的な介護(介助)が的確にできる	○
B	基本的な介護(介助)が概ねできる	○
C	技術が不十分	×
D	全くできない	×

※ 評価・認定基準については、別紙2に定める各科目の到達目標・評価の基準も参考に、確認を行うこととする。

5、不合格となった時の取扱い

- ・ 結果発表後直ちに担当講師による補習を行い、再修了評価筆記試験を行う。なお、再評価に係る合格基準は60点以上とする。
- ・ 補習料:1時間あたり3,000円 再修了評価筆記試験費用:1回あたり3,000円とする。
- ・ 再修了評価筆記試験を最大3回までとし、最終試験の結果、不合格となった者は未修了扱いとなるため注意すること。